

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 24日 (19:00~21:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 全12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	2人	人	12人

前回の改善計画
初めて利用される方は不安や緊張が大きいので、極力寄り添い、利用者様の情報を常に頭に入れた状態でコミュニケーションをとり、不安を取り除けるような対応をする。 また、送迎時などに、ご家族様と話をし、困りごとや不安なことなどを聞けるような関係性を保つ。
前回の改善計画に対する取組み結果
・コミュニケーションを図り、不安を取り除けるように努めた。 ・事業所での状態を家族に連絡し、関係性を深めるように取り組めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	9	1		12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	9	1		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	8	2		12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	5	5		12

できている点
<ul style="list-style-type: none">・情報収集を行うため、様子観察や家族と話をしている。・常に連絡ノートを持ち帰っていただき、家族との連絡報告として使用している。事業所での状況、自宅での状況を共有しやすいように活用している。・初めて利用開始された利用者様が、楽しく、少しでも早く馴染めるように、会話交流を心がけた。言葉使いにも気をつけた。・初めて利用される方へ、極力寄り添っている。・利用開始前に生活してきた時代背景を把握し、会話に役立てた。・送迎時など、ご家族から困りごとなど聞き、事業所へ報告共有した。・声掛けや気遣いはできている。・サービス担当者会議の情報や、前施設等の情報を回覧等で確認し、支援につなげられている。・挨拶など声掛けしながら、利用者の良い点を褒め、できる気持ちを引き出すよう努めた。できないところは手助けし、一緒に行うようにした。・利用者の表情や行動をとらえ、必要な声かけを行う。会話を重ねることで、その方の好きなこと誇りに思い生きてきたことなどを探っていく。認知症の方でも、その要素や意味を伝えることで、不安・怒りから機嫌の良い状態へ誘導していく。・利用者の変化に気づけるように心がけている。・申し送りなどで、情報を共有している。・コミュニケーションを図る。・新規の利用者様を迎えるにあたり、ケアプランを見てご本人の身体的、精神的な情報をを知り、コミュニケーションを取れるように心掛けている。話すことが難しい利用者には、手を握ったりマッサージを行い、緊張が軽減できるように援助している。

できていない点

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・利用者との対話が少ない。・送迎時に家族とのかかわりが無い。家族とのかかわりが少ない。・家族が必要としている支援の中に、宿泊重視の方がいる。・申し送りやノートを活用しているが、細部まで伝わっていない。・家族のいない方や、親族とのかかわりの薄い方もいて、関係作りが成立しにくい。・家族の不安ごとを確実に聞き取れていない。・勤務シフトにより、送迎時の家族との接触の機会が減り、会話が特定の人に限られてしまった。・送迎時等ご家族と会っても、他の利用者が乗車していると時間を取って家族の思いを聞き出せていない。・その方が何ができて何ができないのか把握できていない。・送迎の際、ご本人の状態を聴いたり、ご家族の話し（心配事）を聴いたり、ねぎらいの言葉をかけることを行えていない。 |
|---|

次回までの具体的な改善計画

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・どのような暮らしをしてきたのか？現在どのような状態（状況）なのか、本人・家族の困りごとなどを事前に把握し、スタートできるように準備をする。・本人・家族とのコミュニケーションに努める。 |
|---|

事-①

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 24日 (19:00~21:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 全12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	6人	人	人

前回の改善計画

目標 (ゴール) がわからないご利用者の目標 (ゴール) を見つけられるように、より密にコミュニケーションをとり、またその方の地域や家族ともコミュニケーションをとれる環境を築き、目標 (ゴール) の明確な方はその目標 (ゴール) を把握し、目標に近づけるように常時留意しながら支援していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・目標を共有して支援している利用者、理解しないまま支援している利用者がいた。
- ・スタッフ個人の認識の差もある。
- ・ケアプランの活用ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		7	5		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	6		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		7	5		12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	7		12

できている点

- ・目標を明確に出せる利用者には、それに向かった取り組みを行いやすい。明確でない方は、家族に代弁していただいたことを目指していている。
- ・みんなで意見を出し計画を立て、的確な判断を行い、心をひとつにコミュニケーションを取っている。
- ・利用者とのかかわりを行い、会話することによって、ご本人のしたいことややりたいことを理解している。
- ・日常的に本人の思うように過ごしてもらっている。
- ・本人のできることは、様子を見守りながら気配りをする。
- ・利用者とのコミュニケーションをとる中で、好きなことなどを聞き出し、支援につなげている。
- ・自分でできることはできるだけしてもらい、できないところの支援はできている。
- ・利用者のデイルーム内での過ごし方 (活動) など、一緒に楽しんでいただけるよう声掛けし、一緒に参加している。
- ・ざっくりと大きな目標、自宅での暮らしを継続させたい。は理解しているが、精神面より肉体面の声掛け、もっと運動をして、足腰を丈夫にしましょう。などの声掛けがメインになっている。
- ・新規の利用者に関しては、事前に情報が来るのでそれに目を通すことができている。
- ・ひとりひとりのできるところがわかっていますので、なるべくできることはしていただく。
- ・ご本人の意向、ご家族の意向をわからなくなったら、ケアプランを見るようにはしているが、全員のは理解できているとは言えない。日常生活動作については、他のスタッフに聞きながら行っている。

できていない点

- ・漠然とした目標には取り組みにくい。やはり、身近なことで、具体的な目標が重要と思う。
- ・利用者全員の目標 (ゴール) を把握できていない。
- ・本人のゴールを家族が理解していない。
- ・ミーティングに毎回参加できていない。

- ・すべての利用者の目標は理解できていない。
- ・目標を細分化することをせず、具体的にどのような視点で接近していくか？その時々行き当たりばったりの対応になっている。
- ・新規以外の利用者の目標（ゴール）・ケアプランに関して、時間に追われて目を通せていない。
- ・把握できていない利用者には、どこまで手を指し伸ばしていいのかわからない。
- ・ご家族とのコミュニケーションが取れていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・ケアプランに目を通し、把握する。
- ・ケアプランだけでは不十分なところは、お互いに尋ねあい情報を共有する。
- ・本人・家族の目標を把握し、ゴールを意識し、スタッフ全員が同じ方向性で支援する。

事-②

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 24日 (19:00~21:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 全12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	9人	3人	人	12人

前回の改善計画
アセスメントを元に利用者様との会話を広げていき以前の自宅での暮らし方を把握し、地域や家族にも話を聞き、本人の望む生活に近づけるように心がけ、些細な体調や気持ちの変化にも気づけるように、普段から平常時の状態を把握しておき、敏感に対応できるようにしておく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・以前での自宅での暮らし方を、全員分把握できていない。 ・体調や気持ちの変化に気づけるように努めた。 ・個人個人に合った支援に取り組んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	9	2	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	8			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		6	6		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	8	1		12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	8	1		12

できている点
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症で体調を表現できない方は、普段と少し違うことがあると、すぐに対応できている。 ・利用者に応じて食事形態を替えたり、とろみを付けるなど、要所要所で対応している。 ・トイレの使い方、排泄動作がわからない方には、何気なく付き添い介助している。 ・本人の表情の変化等で気持ちを察し、対応できていたと思う。 ・スタッフ間でその方その方に合った介護を話しあい共有できている。 ・送迎中の車内での会話を通して、以前の自宅での暮らし方は少しづつ把握している。 ・本人や家族との会話や表情から、変化に気づけるように努めている。 ・体調の変化があれば、他の職員と共有している。 ・ご自分でできるところは自身に行ってもらい、できないところの支援はできていると思う。 ・訪問に行く利用者の事は、暮らしを理解し対応している。 ・職員同士で、利用者の状況・状態を共有しているので、できていると思う。 ・お休みだった次の日には、どのような過ごし方をしましたか?とはよく尋ねる。 ・体調の変化や利用者の認知症の進行具合は、スタッフ間で共有している。そしてその都度支援に近づけるように意識行動する。 ・普段の会話のなかで、以前の暮らし方を聴くように心がけている。 ・バイタル測定時、血圧高め・低めの方には、体調確認を行う。何か異変があれば、上司に報告する。 ・体調の変化は、利用者の動きや表情を観察し、状況によりベッド上安静にしたり、温・冷療法やマッサージなど、事業所でできる範囲の援助を行っている。

できていない点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の無い人に関して、訴えが無ければ実施できていない。 ・本人の自宅の以前の暮らし方はあまり把握できていない。 ・生活環境を理解するための把握ができていない。 ・以前の暮らし方10個は、情報が少なく把握していない。 ・本人の思いを優先できていないときがある。 ・自宅での生活環境や暮らし方など、ひとりひとりの把握はできていない。 ・直近をアセスメントをチェックしていない方がいる。 ・利用者の送迎前後など、次の日・次の回でいいかと、スタッフ間でタイミングを逸してしまい、情報の共有が遅れる。 ・以前の暮らし方を10個以上把握できていない。 ・褥瘡がある方の入浴日じゃない日の処置を忘れてしまう。 ・帰りたい。と訴える利用者に、同じことを伝える際、イライラする自分がいる。 ・利用者の生活環境以前の暮らし方は、理解できていない。

次回までの具体的な改善計画	
	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の様子観察を行い、普段と様子が違う時は、速やかに対応する。 ・「自宅での過ごし方」を把握する。 ・本人、家族、スタッフ間で多方面に渡る情報を共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 24日 (19:00~21:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 全12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	7人	2人	12人

前回の改善計画
地域での暮らしを支援するうえで自宅での生活の様子を把握できるように、本人や地域の方、家族、介護者と密なやり取りをし、利用者様のアイデンティティーを守るように、自宅での様子等を聞き、また時には、民生委員さんにも相談して、自宅での状況を聞けるよう関係性を保っておく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・これまでの生活スタイルや人間関係を把握できていない。
・ご家族が同居の場合は、地域とのかかわりは継続できているが、独居の場合は難しい。
・独居の方が、住み慣れた地域で生活を続けられるように、支援を行えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	6		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		8	4		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	3	7	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	2	6	3	12

できている点
・家族との関係はできている。過ごし方等も把握している。
・民生委員の利用者宅の訪問に出会った場合、一緒に対応している。
・地域で行われる行事等に、積極的に参加している。
・本人の生活背景など把握したうえで支援を行っている。
・本人と家族、介護者との関係を現状維持できるように行っている。
・送迎時など、ご家族と会話を続けている。
・利用者の情報・支援など、職員間で情報共有している。
・地域イベントへの参加、連絡帳での状況報告を通じた、わずかではあるが支援している。
・家族には、連絡帳を通じて、通所での様子を伝えている。
・逆に、自宅の様子を連絡帳に記載してくださる家族もいて、情報把握に役立っている。
・援助ができるところはしている。
・本人に家族の事や、日常生活のことを聴くことは有るが、家族や地域の中で、どのような生活やかかわりがあるかは理解できていない。これまでの生活については、アセスメントを参考にしている。

できていない点
・地域とのかかわりを把握していない。
・家族以外の方(民生委員など)を把握していない。
・本人の自宅での様子や地域とのかかわりを把握していない。
・本人の人間関係の理解ができていなかった。
・民生委員さんなど、活用できていない。
・利用者の居住地域の民生委員を把握できていない。
・自分の居住地域が違うため、知り合いも情報も他のスタッフより少なく広がりが無い。

- ・夜勤帯の時間では、できることが限られる。
- ・独居の利用者に関しては、把握できない。
- ・本人ができることでも手を貸してしまう。
- ・地域の方とかかわっていない。地域の資源についても知らない。

次回までの具体的な改善計画

- ・これまでの過ごし方や地域とのかかわりを把握する。
- ・地域とのかかわり、家族とのかかわりが希薄にならないように支援を行う。
- ・住み慣れた地域で暮らせるように、民生委員や地域と連携を行う。

事一④

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 24日 (19:00~21:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 全12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	10人	1人	1人	12人

前回の改善計画
地域の資源を把握できるように研修等も行い、地域の資源にも目を向け、多方面で利用者様を支援できるようにする。また引き続き、利用者様の背景を知り、「通い」「訪問」「宿泊」の希望をニーズに合わせて、柔軟に利用していただけるような体制づくりにも配慮する。

前回の改善計画に対する取組み結果
・本人、家族の諸事情に応じた、柔軟な対応ができた。
・地域資源の活用ができていない。地域資源を把握する取組みに欠けた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	7	4		12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	7			12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	10	1		12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9			12

できている点
・急に家族に所要ができた場合など、受け入れを行っている。
・利用者の要望に、できる限り柔軟に対応できていると思う。また、日々の変化に気づき、適切に対応できていると思う。
・通い・訪問・宿泊は、家族の要望に十分応えられている。
・本人や家族の状況に合わせて、訪問を増やしたり、通い、宿泊も調整し、柔軟に対応することができた。
・日々のかかわりの変化は、申し送りノートなどで共有し、個人記録に記載している。
・独居の方は、宅食を利用している。
・家族の希望や、本人の状態に応じて柔軟に対応できている。
・利用者のお迎え、訪問、宿泊など、不安なく気持ちよく過ごしていただけるよう、不快感を与えないよう、言葉使いに気をつけて接している。
・宿泊時は、利用者の睡眠の質の状況がわかりやすく、日勤への申し送りにて体調の変化も伝えやすい。
・地域で行われている「ころばん体操」の実施日に、勤務している職員が交代で利用者と一緒に参加している。
・家族と自宅での生活が継続できるように、プランに沿った支援ができています。宿泊～通い、申し送りで情報共有できている。

できていない点
・地域の資源を活用できていない。
・事業所だけの支援が多くなってしまふ。
・家族の都合を優先したり、利用者によって通い・訪問・宿泊に偏りがある。
・家族が地域資源を望んでいないとも思える。
・変化の共有が毎回できていない。
・地域行事「ころばん体操」に自分が参加できていない。
・看護知識が少ないため、柔軟な対応が難しい場合がある。

- ・地域行事に参加予定になっても、日程変更や悪天候等で参加できないことがあった。
- ・ボランティアの方や、地域の資源とのかかわりができていない。

次回までの具体的な改善計画

- ・地域資源について情報を得て、共有を行う。
- ・各家庭それぞれの諸事情や利用者の状態に配慮し、柔軟な対応を今後も継続する。

事-⑤

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 24日 (19:00~21:00)

6. 連携・協働

メンバー 全12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	6人	5人	1人	12人

前回の改善計画

これからも地域の各種機関、団体（自治会、町内会、消防団等）の活動やイベントの情報を収集し、参加できるものには参加させていただき、また高齢者や子供等、地域住民さんたちが、事業所を訪れやすいようにイベントを行い、地域の方々が訪れやすい開かれた事業所にする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・地域のイベントに、その日の利用者全員で参加できたものもあれば、一部の人だけの場合もあった。
- ・事業所としてのイベントは開催していない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	2	4	5	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			4	8	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	5	2	4	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		3	2	7	12

できている点

- ・医療機関との会議には、参加できている。
- ・地域の公民館で開催される、ころばん体操には毎月参加できている。
- ・地域で毎年行われる六月灯には、灯籠を出展している。
- ・地域に有る高校が、校外学習の機会として訪問してくださり、作品を一緒に作るなどを実施。
- ・漁協が行う秋太郎まつりに招待いただき、参加できている。
- ・地域で開催される行事には、2～3人ほど参加している。
- ・酒造会社のイベントに参加できた。
- ・サービス担当者会議等に参加し、福祉用具や訪問看護事業所とかかわっている。
- ・地域の方が季節の踊りを見せに来てくださったり、また、漁協での行事に参加、地域の祭りに参加等できている。
- ・毎年行われる地域のお祭りに参加させていただいた。
- ・地区の行事、夏祭り、ころばん体操に参加。
- ・地域の高校からの訪問や、ころばん体操の参加はできており、利用者方も生き生きとされている。

できていない点

- ・ころばん体操以外の地域行事にも参加できたが、全利用者の参加はできていない。限られた利用者になっている。
- ・地域の方と交流の機会を持てなかった。
- ・会議等には参加していない。
- ・地域の各種機関、団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動への参加。
- ・地域のイベントや活動にこだわらず、可能な範囲で参加しているが、特定の人のみである。
- ・地域の方々が事業所を訪れるようなイベントは開催できていない。

- ・コロナ以降、地域の方々との交流の場が希薄になっている。
- ・イベント等の話し合いの場を設けていない。
- ・子供会、町内会、利用者様、ご家族などを招待しての行事。
- ・自治体や地域包括支援センターの会議は参加できていない。

次回までの具体的な改善計画

- ・地域で行われるイベントに、できる限り参加させていただく。
- ・地域の方に来ていただけるようなイベントを検討・開催に努める。

事一⑥

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 24日 (19:00~21:00)

7. 運営

メンバー 全12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	5人	5人	1人	12人

前回の改善計画
 地域の方々からの意見や苦情を真摯に受け止め、地域に根付いた介護施設になるように、地域と協力し合い、地域に必要とされる拠点であり続ける。また地域の方々に「小規模多機能ホーム実恩」を詳しく知っていただけるように、詳しく、わかりやすいパンフレット等を作成し、広報していく活動を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・パンフレットを団地回覧に回したスタッフや、出会った人にパンフレットを渡したスタッフ、居宅への挨拶周り等を行ったが、住民への広報ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		6	5	1	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	9	2		12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	3	3	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		3	7	2	12

できている点

- ・意見を言える職場作りに、みんなで努めている。
- ・利用者宅を訪問支援した際、たまたま近辺の方に出会った場合は、パンフレット等を渡している。
- ・管理者に意見や要望等を話せる。
- ・地域の方や利用者・家族の意見や苦情を真摯に受け止めている。
- ・意見など、書面にて回覧で把握するようにして共有した。
- ・業務や小多機のすべし支援など、スタッフ間でわからない時には共有できている。
- ・地域の活動に参加し、施設等利用している。
- ・固定の利用者の家族が、以前は苦情が多かったが、会話を重ね信頼度が増すことで、苦情が大幅に減り、相手も構えることが無くなったと感じる。
- ・地域の夏祭りに参加し、六月灯に灯籠を作成して参加できている。ころばん体操にも参加できている。
- ・自分が住んでいる団地住民の方々対象に、17班分にパンフレットを回覧版で回してもらった。
- ・利用者・家族からの意見や苦情については、連絡帳や申し送りノートを読み、改善するように努力している。スタッフ同士の話しについては、その中に入らず、利用者と向き合うようにしている。

できていない点

- ・閉ざしている訳ではないが、訪れる人はいない。
- ・もう少し事業所の良い点をわかっていただけるよう、広報活動をしないといけないと思う。
- ・地域交流が少なく、「小多機」を詳しく知ってもらっていない。
- ・事業所のあり方について、運営的な意見はわからないし、言いにくいし、どうしたら運営が良くなるかわからない。
- ・小多機の魅力を知ってもらっていない。 ・地域への広報活動。
- ・利用者の意見・苦情を聴けていない。
- ・地域の行事や会議に参加できていない。どこでどのような催しがあるのかわからない。

次回までの具体的な改善計画

- ・ 苦情や助言を前向きに受け止め、スタッフ間で共有し改善努力を行う。
- ・ パンフレットを活用した広報活動を検討し実行する。
また、尋ねられた時に受け答えができるように、各スタッフが知識を持つておく。
- ・ スタッフ間で相談しあい、意見を言える職場づくりを目指す。

事-⑦

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 24日 (19:00~21:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 全12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	2人	人	12人

前回の改善計画
個人や職場の質を向上するために、研修に参加する機会を増やし、職場でのヒヤリハットをもとにリスクマネジメント（事故防止対策）に取り組み、また職場外の研修にも参加できるように、オンライン研修等も活用し、個人のスキルアップや資格取得の勉強、研修にも取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果
・外部研修に参加できていない。内部研修への参加も限られている。 ・同じような内容のヒヤリハットが多く、活かされていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	10			12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		5	6	1	12
③	地域連絡会に参加していますか		2		10	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		8	4		12

できている点
・研修を開催し、参加している。 ・ヒヤリハットを積極的に書くようにしている。 ・職場の研修やミーティングに参加し、勉強している。 ・研修が月1回実施され参加し、その都度資料に目を通すことができている。 ・職場内の研修に参加している。参加できない場合は、資料や意見などで把握している。 ・危険を意識して利用者が死角にならないように見守りしている。 ・ヒヤリハットを振り返り、次に活かせるようにしている。 ・ヒヤリハットや事故報告など、スタッフ間で共有している。 ・自宅に有る介護福祉士のテキスト、実務研修時代のテキスト等を時々読み返している。利用者と同様な状況の事例を参考にしている。 ・職場のヒヤリハット記録に目を通すことで、危険や間違いの発展性などイメージしやすく、自分自身もそのリスクが減ってきた。 ・職場研修が夜勤明とほぼ重なり、個人的にオンライン研修などを受ける機会を作っている。 ・介護福祉士を取得できた。 ・ヒヤリハット、事故報告を振り返り、同じことを起こさないように心がけている。 ・事故を起こさないよう、入浴・送迎時にはより神経を使い、転倒が無いようリスクマネジメントに取り組んでいる。 ・職場外での研修（手話・軽体操、フットケア）に定期的に参加している。自・他も含め、ヒヤリハットは誰でも起こしやすいため、「自分も起こすかもしれない」を念頭に環境整備を行っている。

できていない点
・ヒヤリハットを上げるが、それについて話し合ったり、対策意見を交換しあっていない。 ・資格取得、スキルアップ研修、地域連絡会には参加していない。

- ・リスクマネジメントの取り組みができていない。
- ・ヒヤリハットなどの報告が少ないことがある。
- ・地域連絡会に参加したことがほとんどない。
- ・介護福祉士を年数的には受けられるが、取り組みを行っていない。
- ・スキルアップのための研修や、地域連絡会への参加ができていない。
- ・少し慣れてくると目を離してしまう。大丈夫だろうと自己判断をしてしまう。
- ・地域連絡会には参加できていない。

次回までの具体的な改善計画

- ・研修、ミーティングに参加できるように、体制を改善し、全員参加・参加意識を高める。
- ・外部研修の情報が届くように体制を改善し、外部研修、事業所連絡会等に参加する。
- ・同じようなヒヤリハットが多い。全員が内容を共有し、同じ過ちを繰り返さない。
- ・ヒヤリハットを書く意識を持つ。

事一⑧

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 24日 (19:00~21:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 全12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	4人	2人	1人	12人

前回の改善計画

身体拘束や虐待防止の研修をこれからも続け、人権についても考え、成年後見制度の必要な方には活用し、利用者様の人権を守り、また利用者様に向けた言葉はもちろん、スタッフ間でも今以上に言葉使いにも配慮し、相手のことを考えた、思いやりの言葉、発言に留意し、フロア内での職員の私語は止め、利用者様、スタッフのプライバシーにも留意する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・身体拘束、虐待は無かった。
- ・人権、個人情報の取り扱いには遵守できた。
- ・全体的に私語が多い。
- ・言葉使いが荒いスタッフ、命令口調のスタッフがいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	1			12
②	虐待は行われていない	11	1			12
③	プライバシーが守られている	5	7			12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	5	3	3	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	5			12

できている点

- ・人権、個人情報の取り扱いには、気をつけている。
- ・身体拘束、虐待は絶対にしていない。
- ・入浴の際、男女が同じタイミングになる場合は、必ずカーテンで仕切ることを徹底している。
- ・個人情報はきちんと管理している。
- ・常々ミーティング等で話しがあり、守られている。
- ・個人情報は人目につかないところにある。
- ・拘束や虐待はしていない。また起きないように早めに対応している。
- ・トイレノックの実施、入浴時のカーテンやタオルの活用で配慮している。
- ・身体拘束や虐待防止の張り紙が、職員の目のつくところにある。
- ・身体拘束、虐待は無い。身体拘束になりそうな行為は、気づいたら声をかける等ができている。
- ・利用者の尊厳を守り、利用者を名前呼び「ちゃん」付等はしない。一人一人に丁寧に接している。
- ・利用者に対し、「待つ」気持ちでできることはしていただく。
- ・利用者もスタッフも意欲を高めるような声掛けを行っている。
- ・身体拘束も虐待も行っていない。
- ・脱衣室で男女が同室になる場合は、必ずカーテンで仕切りをしている。
- ・職員間の言葉使いに気をつけている。
- ・利用者に対し、尊敬の念を持って接するように心がけている。

- ・わからない仕事内容は、先輩方に教えてもらっている。
- ・プライバシーは口外しない。
- ・身体拘束や虐待は行っていない。
- ・利用者とのコミュニケーションは、同じ目線かそれより下から目を合わせて行う。
- ・個人情報が漏れないように努力している。
- ・ホールで利用者の話しはしない。

できていない点

- ・私語が多かった。
- ・「どこへ行くの?」「待ってください」と行動の制限をしている時がある。
- ・身体拘束は、どこまでが拘束になるのかわからない時がある。
- ・成年後見制度の理解が不足。虐待、身体拘束の実例の勉強が不足。
- ・フロア内での私語が多い。
- ・身体拘束になる事案と知らないスタッフもいる。
- ・成年後見制度を活用・利用している利用者を知らない。
- ・成年後見制度自体をよく理解していないため、会話が不可能である。
- ・身体拘束について、どこから身体拘束になるのかわからない時がある。
- ・成年後見制度も、実務者研修で勉強したが、理解できていない部分がある。
- ・私語がどうしても入ってしまう。
- ・トイレで排泄介助時、トイレ内で待っており、プライバシーへの配慮ができていない時がある。
- ・成年後見制度については、個人情報に触れるため行っていない。

次回までの具体的な改善計画

- ・私語は慎み、利用者との会話を増やす。
- ・人権尊重と守秘義務を遵守する。
- ・身体拘束、虐待は絶対に行わない。迷うようなことは行わない。